

成長期待企業 の イチオシ!

中小企業支援ネットひょうごは成長性を見込んだ企業を「成長期待企業」として選定し、複合的な支援を実施。頑張る企業が誇る製品を紹介します。

3Dスキャナー・ドローン測量

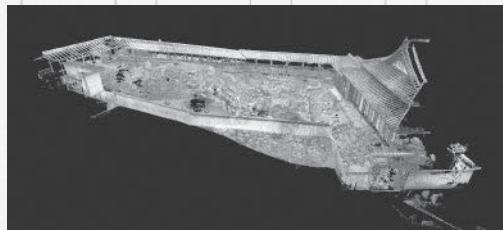
株式会社金岡光輝園

3Dスキャナーとドローンを使った最新の方法で測量し造園業の新しい在り方を提案

もともとはカーネーションやキンセンカなどの花き栽培で事業をスタートした同社。その後、公園の緑地維持管理をはじめとする造園管理の仕事が増え始め、現在はあわじ花さじきでの生育、散水など、草花の維持管理も担っています。ただ、こうした造園業は価格競争にさらされることが多く、金岡秀和社長は「うちだからこ選ばれる仕事をしたい」と思うようになりました。

3年前、県指定文化財である淡路市の妙勝寺庭園から崩落した滝石組みの修復依頼が舞い込んできました。文化財の場合、修復前後でどう変化したかを厳密に示す図面作成が求められます。2次元の平面図では分かりにくいので、公的な補助金を活用して3Dスキャナーの導入を決めました。「造園業で3Dスキャナーを使っている事例はほとんどありません。差別化になると考えました」

3Dスキャナーを使うと状況が映像のように把握できるだけでなく、樹木を除外した地表面図だけを描出したり、特定箇所の断面図を切り出して表現したりといっ



妙勝寺庭園の3Dデータ

た加工も可能で、施主への説明が格段に分かりやすくなります。「従来の測量は2人がかりでしたが、3Dスキャナーは1人で、かつ時間も従来の10分の1程度で済ませられることが大きなメリット」といいます。その後、死角があって地上からは測量できない案件への対応として、ドローンを用いた測量も導入し、組み合わせたり、使い分けたりしています。

造園土木技術と最新の測量技術の組み合わせで、その後も洲本市の旧益習館庭園が国の名勝に申請する際のデータ作成、沼島の県指定文化財である神宮寺庭園にある高さ23mの大イチョウを伐採する際の記録など、多彩な用途で実績を増やしています。さらに人工衛星の座標データを活用し、3Dスキャナーとドローンのデータを経度・緯度・標高で結合するなど、測量データの正確さに磨きをかけます。「3Dスキャナー、ドローンを導入することによって事業の視野が広がりました。造園周辺にとらわれることなく新たな分野でも活用を提案していきたい」と、農薬散布など新規事業の開拓にも力を注いでいきます。



測量に使用するドローンと金岡社長

◎株式会社金岡光輝園の
3Dスキャナー・ドローン測量

株式会社金岡光輝園 / 所在地: 淡路市志筑2219 / 代表取締役: 金岡秀和
事業内容: 造園業、3Dスキャナー・ドローンを使った調査・測量など
TEL 0799-62-1470 / URL <http://www.kokien.com/>

編集後記

「元気企業訪問」で取材したミテジマ化学の末常社長は海外駐在の経験が長く、企業立地のポイントについて独自の視点を持っておられました。唯一の懸念材料は「津波」だったそうですが、「それを上回る淡路島の魅力」にほれ込んだようです。

JUMP

2019年4月号 平成31年3月30日発行
発行人: 赤木正明 編集人: 安部則行

明日へ飛躍する企業をサポート

ひょうご産業活性化センター通信

発行所 公益財団法人ひょうご産業活性化センター
神戸市中央区東川崎町1-8-4

神戸市産業振興センター1階・2階・7階

TEL 078-977-9070(代) URL <https://web.hyogo-ic.ne.jp/>